

コロナ禍で深刻化する相談への対応を学ぶ 講演・研修会を開催

令和2年9月18日
京丹後市役所

近年、福祉の窓口を訪れる相談者の抱える問題は、複雑化・多様化していると言われており、そして今、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、抱える問題はより困難でより深刻化しています。

このような中で、金銭トラブル、DV、虐待などあらゆるケースで深刻な事例を数えきれいほど扱い、救済・支援につなげてきた「公益社団法人 日本駆け込み寺」理事の玄秀盛氏から、コロナ禍で深刻化する相談支援における重要なポイントを学ぶための講演・研修会を下記のとおり開催します。

【日程】令和2年9月25日（金） 午後3時から4時30分

【場所】アグリセンター大宮（京丹後市大宮町口大野）多目的ホール

※マスク着用、入館時の検温、手指消毒、所属と氏名の登録、座席の間隔を開けて座るなどの感染予防対策を実施

【対象】市民からの相談や支援に携わる市役所職員及び民生児童委員、社会福祉協議会職員、保護司会、人権擁護委員（感染予防等の観点から40～50人を想定）

【テーマ】「一人ひとりに寄り添う」～コロナ禍で深刻化する相談～

【講師】玄 秀盛 氏（公益社団法人 日本駆け込み寺 理事）

「玄秀盛先生 プロフィール」

1956年、大阪市生まれ。20代から40代は「金儲け」に心血を注いでいましたが、2000年に白血病の原因となるウイルスの感染者であることが判明。それを機に過去と決別し、「NPO法人ソーシャルマイノリティ協会」を設立。DV、家庭内暴力、虐待、ひきこもり、金銭トラブルなど、悩み苦しむ人々の救済と、自身の「生きる証」を残すため、現代版駆け込み寺の活動に身を投じる。

2012年11月、「公益社団法人日本駆け込み寺」に組織変更。

2014年4月、社会復帰が困難な刑務所出所者等の支援を行なう「一般社団法人再チャレンジ支援機構」を設立。

『たった一人のあなたを救う』をモットーに、過去3万人以上の問題を解決。その生きざまは、「愛・命～新宿歌舞伎町駆け込み寺～」（渡辺謙企画・主演）としてテレビドラマ化された。

●著書「ありのままの自分で生きる法則」（KKロングセラーズ）ほか多数。

問い合わせ

京丹後市 寄り添い支援総合サポートセンター

担当：藤村、小谷

TEL:0772-62-0032 FAX:0772-62-5020